

株主通信

平成25年度中間報告書

(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

第66期

- | | |
|--------------------|------------|
| ● ご挨拶 | ● 完成工事（建築） |
| ● ピーエス三菱グループのCSR活動 | ● 連結決算の概要 |
| ● トピックス | ● 会社情報 |
| ● 完成工事（土木） | ● 株式情報 |

化学療法研究所附属病院（千葉県）





CONTENTS

● ご挨拶	1・2
● ピーエス三菱グループのCSR活動	3・4
● トピックス	5・6
● 完成工事（土木）	7・8
● 完成工事（建築）	9・10
● 連結決算の概要	11・12
● 会社情報	13
● 株式情報	14

● 表紙の説明

化学療法研究所附属病院（化研病院）は、昭和14年に結核の化学療法研究を目的に設立されて以来その社会的責任を担う一方で、社会のニーズに合わせて研究と診療の領域を広げてきた病院です。本工事は、同敷地内における地上3階建ての病棟建て替え工事です。新病棟は、療養棟、回復期リハビリテーション病棟および結核病棟で構成されており、その中でも結核病棟は、陰陽圧空調管理により嚴重な感染対策を施した建物となっております。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。平成25年度第2四半期累計期間における我が国経済は、いわゆるアベノミクス効果により景気も順調に持ち直しており、公共投資の増加が成長率の押し上げに寄与することに加えて、民需も底堅さを維持しております。更に、株価上昇が景気に対してプラスに作用し、個人消費については、高額商品を中心とした耐久消費材等、消費税率の引き上げ前の駆け込み需要も今後見込まれております。

当社が属する建設産業におきましては、業界全体の建設需要をみると、震災からの復旧・復興に向けた動きに加えて、被災地以外でも増加しており、足許で緊急経済対策の効果と見られる着工増加の動きが顕著となっております。更に、平成32年（2020年）オリンピック・パラリンピック東京開催の正式決定を踏まえた首都圏を中心とする経済効果と建設産業の需要も明るい話題となっておりますが、その反面として、慢性的な人手不足による労務費と原材料費を中心とした建設コストの高騰は、未だ採算悪化の懸念材料となっております。加えて、インフレ率を2%高める政策等による物価上昇の機運もあり、予断を許さない状況が続くと思われまふ。

このような経済状況のもと、当社はPC（プレストレスト・コンクリート）技術を基軸とした総合建設業として、橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とする「建築事業」を2本柱として、PC技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで、企業競争力を高め、外的環境の激しい変化に対応しながら、「我が国トップのPCゼネコン」を目指して取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の連結受注高につきましては、593億55百万円（前年同期526億36百万円 前年同期比12.8%増加）となりました。連結売上高につきましては、465億28百万円（前年同期385億81百万円 前年同期比20.6%増加）となりました。

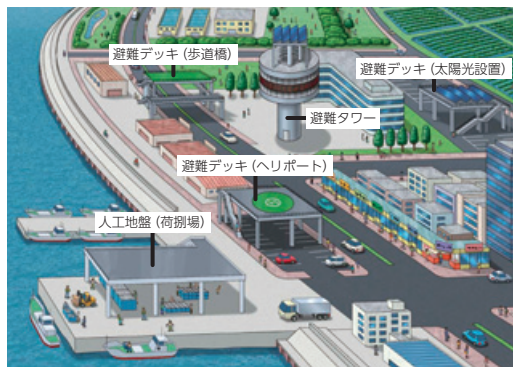
損益の状況につきましては、建築工事の一部で工事採算が悪化したため、連結営業損失5億27百万円（前年同期は営業損失6億41百万円）、連結経常損失5億68百万円（前年同期は経常損失7億32百万円）、連結四半期純損失3億63百万円（前年同期は四半期純損失8億95百万円）となりました。

なお、中間配当につきましては、経営環境や諸般の情勢を総合的に勘案し、無配とさせていただきます。無配となることにつきまして深くお詫び申し上げます。

当社としては、この難局を打破すべく経営、工事、営業、技術、管理の五つの部門が一体となり、業績挽回を目指しております。具体的な施策といたしましては、受注時のリスク回避のための内部牽制強化、営業部門における適正利益目標値を定めた受注管理の徹底、工事部門の利益回復に向けてのプロセス管理の徹底、更に、今後も受注増大が見込まれる東北地区の体制強化を含む全社的な効率の人員配置を推進してまいります。

以上の施策を重点的に取り組むことで業績挽回を目指すとともに、国の「国土強靱化」に向けた政策や自然災害に強い国土形成、持続可能な社会

に向けた「防災・減災・補強・長寿命化」等の社会ニーズに応えるべく、プレストレスト・コンクリートの特長である高い耐久性、耐震性を活かした当社得意技術の応用と適用範囲の拡大に注力してまいります。当社の使命は自然災害に強い国土を造り将来に残すことであり、そのためには、最も得意とする橋梁の新設・補修をはじめ道路基盤の整備に引き続き特化し、建築部門においては、昨今の建設産業の労働者不足、労務費高騰の影響を最小限にした、環境負荷低減や工期短縮に対応できるプレキャスト部材の活用が有効と思われる、当社グループは、プレキャスト工場を有している優位性があり、時流に対して活躍できる分野は数多くあります。これからも、この様な業容拡大に全力を注いでまいります。その前提としてまずは、コンプライアンスを徹底し、リスクを適正に管理して健全経営に努めるという「基本的な社会責任」を果たしながら、建設業という本業を通しての積極的な社会貢献を行ってまいりたいと存じます。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



国土強靱化に向けた自然災害
に強い新たな街づくりに貢献



代表取締役社長
社長執行役員

勝木 恒男



ピーエス三菱グループのCSR活動

当社グループは、平成22年度より同一の目標を掲げてCSR活動を推進し、グループのベクトル合わせを目指してまいりました。今年度もグループ全体として、以下のCSR目標を掲げてPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践することで、CSR活動のさらなる充実を図っております。

◆平成25年度CSR目標◆

有効な内部統制システムによるマネジメントの実践

- ・ リスクマネジメントの強化
- ・ コンプライアンスの徹底

ステークホルダーコミュニケーションの実践

- ・ CS（お客様満足度）の追求
- ・ 取引先と取り組むCSR活動
- ・ 株主とのコミュニケーション拡充
- ・ 働きがいのある安全な職場環境の構築
- ・ 地域社会への貢献活動の推奨

推進活動項目は、より現場に即した評価対象として捉えることを目的に、顕在化したリスクと既に周知されたリスクに対して、評価対象項目の表現の修正を行い27項目といたしました。この推進活動項目について、四半期ごとに各部署が自己評価を行い、本社・支店・関係会社各CSR委員会でこれらを審議・評価し、浮かび上がった課題について随時改善をしております。

◆リスクマネジメント推進活動◆

部署ごとに右記のリスクへの対策としてリスクマネジメント推進活動報告書を作成し、四半期ごとに実施状況をCSR推進活動評価表に記載の上、PDCAを実施することで、リスクの回避、発生確率の低減および被害規模の低減を図っております。

- ・ 厳しい受注環境におけるノルマ達成のために生じるリスク
- ・ 工事施工における各種リスク
- ・ 不祥事等が職場内で埋没するリスク

◆コンプライアンス推進活動◆

次の研修会を実施いたしました

- ・役員向けコンプライアンス研修会
7月16日 51名
- ・営業担当者向けコンプライアンス研修会
7月22日、23日 338名

役員向けには、「企業不祥事の予防とその対応」を、営業担当者向けには、受講対象を営業のみならず工務・設計の受注業務担当者に拡大して、「独占禁止法について」

- ・基本的な内容
- ・禁じられている行為
- ・違反した場合に生じるリスク
- ・違反を防止するために

等、具体事例を交えて外部講師による講義を実施いたしました。



◆コミュニケーション推進活動◆

CSR REPORT 2013

ステークホルダーの皆様当社のCSR活動に関する情報をご覧いただくため、当社ホームページに掲載しておりますのでご一読ください。

(ホームページアドレス：<http://www.psmic.co.jp/>)

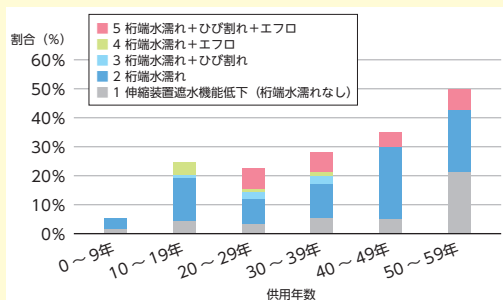




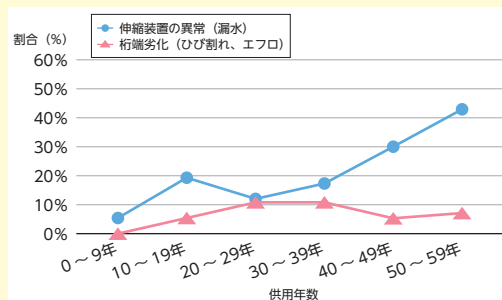
「PSMの橋守プロジェクト」報告（既設PC橋梁の桁端変状傾向）

平成23年度より本格始動いたしました「橋守プロジェクト」では、これまでに約6,800橋分の橋梁点検結果をデータベース化しており、今後も増やしていく予定です。橋守プロジェクト本格始動後に調査を実施した当社施工の既設PC橋梁408橋分を対象に、桁端変状傾向を分析しました。

桁端変状パターンを大きく5つに分類し、供用年数とパターン別発生割合の関係を示します（左図）。ここで、桁端水濡れの有無に関わらず、ひび割れあるいはエフロの発生が確認できない状態は、主桁自体の劣化ではなく伸縮装置の異常に起因するものと見なせることから、伸縮装置の異常（パターン1～2）と桁端劣化（パターン3～5）に分け、供用年数経過による発生割合の推移を確認しました（右図）。その結果、桁端劣化の発生確率は概ね10%程度であること、および供用30年までは徐々に増加するものの、その後の顕著な増加は見られないことが分かりました。



パターンと供用年数の関係



伸縮異常と桁端劣化の推移

プレキャスト製銅スラグ入りコンクリートによる放射線遮へい容器

銅スラグは密度が大きく、細骨材として用いた場合、コンクリートの単位容積質量が大きくなり、遮へい構造物への利用に適しております。また、本製品で用いる銅スラグは、三菱マテリアル株式会社の関連会社である福島県の小名浜製錬株式会社で生産される副産物であり、被災地の未利用資源を新しい用途でリサイクル資源として活用することを目指すものです。銅スラグコンクリート遮へい容器は、高濃度に汚染された放射性廃棄物を仮保管するための容器として活用できます。現在は、販売推進に注力しております。



銅スラグ

梁中央で圧着接合する接合面の摩擦係数の改善

PCaPC工法による大型物流倉庫などの長大建築物の建設において、プレキャスト梁の中央部分で部材同士をPC鋼棒で圧着接合する「梁中央部圧着方式」を採用することにより、施工効率の良い合理的な工区分割が可能となり、建設工期の短縮による総コストの縮減が可能になります。これまで圧着接合面の設計では、特別な調査研究を行わない場合には接合面の摩擦係数として $\mu=0.5$ が用いられておりましたが、摩擦係数を大きくすることが可能となればPC鋼材量の削減、部材断面のスリム化に伴う更なるコストダウンを図ることができます。本調査研究では摩擦係数の改善（設計に用いる数値の増大）を目的として、接合面に工夫を加えた試験体を用いた接合面のせん断実験を行いました。



「ピース三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強」技術評価の改定

平成25年4月19日付けで、（一般財団法人）日本建築防災協会より取得している「ピース三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強」の技術評価内容を改定いたしました。

今回の改定により、これまで適用が難しかった低強度コンクリートの建物（ $13.5 \leq \sigma_B < 18 \text{ N/mm}^2$ ）にも本工法が適用可能となりました。また、本工法で補強する際の適用変形を $F \leq 1.27$ から $F \leq 2.0$ に拡大（Fは変形を表す指標）するとともに、せん断力を伝達するスラブのせん断応力度の上限値をこれまでの1.5倍まで緩和いたしました。そのほか、既存建物が軽量コンクリートの場合への適用、既存建物と外付けフレームの接合にPC圧着工法を追加、接合部設計用の割り増し係数の修正等も行い、より適用性を向上させました。

技術評価の改定とともに有効期間も更新し、平成30年4月18日まで有効となりました。



ピース三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強の適用事例



技術評価書



新名神高速道路 川下川橋（兵庫県）

新名神高速道路は、愛知県名古屋市中心部から兵庫県神戸市に至る全長約170kmの高速自動車国道です。このうち高槻第一JCT～神戸JCTは、現在の名神高速道路および中国自動車道の渋滞緩和・異常事態の代替路の確保を目的としております。また、名神高速道路、中国自動車道および山陽自動車道と一体となって機能することにより、広域交通を処理し、地域開発の進展に大きく寄与することが期待される重要な区間です。

本工事は、兵庫県宝塚市と神戸市の市境に位置するPRC 3径間連続ラーメン箱桁橋架橋です。平成25年7月に完成いたしました。橋脚高は95.0mあり、最大張出し長は110.0mを有する国内最大規模のコンクリート橋です。本橋は急峻なV字谷に位置しており、架設方法は、移動作業車をを用いた張出架設工法にて施工いたしました。国内最大級の張り出し施工であるため、施工時の橋面高管理が非常に高い精度で求められ、通常の橋面高測定に加え、橋体の温度差および橋脚の倒れ等を計測し、精度を高めた施工を行いました。



室生路橋（奈良県）

主要地方道の吉野室生寺針線は、近鉄室生口大野駅や一般国道165号から女人高野・室生寺へのアクセス道路で、大野工区では、社会資本整備総合交付金事業として2車線のバイパス整備および旧道区間の歩道整備を進めております。

本工事は、道路改良工事に伴い架け替えられた、奈良県宇陀市室生大野地内の一級河川宇陀川を跨ぐ橋長62.8m、有効幅員3.0mの歩行者専用橋です。構造形式は、両岸をつなぐ鋼製ワイヤー（PCケーブル）をコンクリートで巻立て、中央部が大きくしなったPC吊り床版橋というめずらしい橋梁で、全国に約80橋程度施工されています。

また、近鉄室生口大野駅・大野寺から女人高野・室生寺や東海自然歩道へ続くウォーキングルート上にあり、モニュメント橋として観光振興にも期待されています。

工事は平成25年6月に完成し、本年10月19日に開通いたしました。



内藤橋上部工工事（熊本県）

内藤橋は、熊本県の北西部に位置する玉名郡和水町を流れる菊池川に架かる県道の橋梁です。菊池川は熊本県北部を流れ阿蘇外輪山北西斜面に源を発し迫間丘陵を流下しながら菊鹿盆地、玉名山地、菊池平野を経て有明海に注ぐ延長171kmの一級河川で、本工事は昭和10年頃施工された旧内藤橋の老朽化による架け替え工事です。新しく橋梁が完成すれば幅員が広くなり歩道が設置されることにより歩行者の安全と車両の渋滞緩和等、利便性の向上が期待されます。本橋は、橋長225.0m、幅員は車道部10.5m～7.5m、歩道部3.0mのPC 4径間連続箱桁橋で河川部は張出架設工法、陸上部は固定式支保工で施工いたしました。特に河川部は渇水期施工（10月～5月）で工事中用機橋を設置して施工を行いました。

工事期間は平成23年11月に着工し平成25年4月に無事故、無災害で工事を完了いたしました。



宮崎西環状線 松橋工区 新相生橋 上部（P1張出）工事（宮崎県）

県道西環状線は、宮崎市芳士の国道10号を起点とし、宮崎市中村西の国道220号を終点とする延長約15kmの主要地方道です。本線は、宮崎市街地における西側の環状道路を形成し、市内の交通渋滞を緩和するとともに市街地周辺地域における円滑な交通を確保する道路として重要な路線であります。また、宮崎市周辺部から空港、高速ICなどの交通拠点へのアクセスを向上させるなど、地域の発展に大きく寄与するものです。

本工事は、一級河川の大淀川に架かる橋長412.3mの橋梁部の右岸側139.8m区間について施工いたしました。構造形式は4径間連続波形鋼板ウェブPC箱桁橋で幅員が22.0mと比較的広い構造となっております。当初は、平成26年3月完成の工期でありましたが、架設機械である移動作業車を改造することにより、出水期における施工も可能とし約8ヶ月の工程短縮に努め、平成25年の7月に工事を完了いたしました。





創価大学中央教育棟（東京都）

※PC躯体工事

創価大学創立40周年記念事業として、更なる教育環境の充実と発展を目指し、新しいシンボルとなる総合的な教育施設が「中央教育棟 GLOBAL SQUARE」として建設されました。建物は、鉄骨鉄筋コンクリート造で地下3階、西棟12階、東棟9階、中央棟7階、ホール棟2階建ての校舎で、延床面積53,065㎡です。

正面玄関を入ると、3層吹き抜けのエントランスホールが迎えてくれ、遠くまで視界が開け、明るく開放的な空間となっております。この光を取り入れたエントランスホールの天井および東西校舎を結ぶ



渡り廊下に当社のプレキャストプレストレストコンクリート曲面版が採用され、すばらしい空間を創出しています。この曲面版の創造性に富んだ形状は、現場打ちでの表現は困難であり、プレキャストの優位性を引き出しております。

大光印刷亀岡新工場（京都府）



本工場は、京都府亀岡市の工業団地内に当社が2年前に施工した大光印刷亀岡工場より約200mの場所に立地し、主に医薬品に添付する効能書の印刷および新商品の開発を行う工場です。本工場にて扱う効能書は、非常に薄く何度も折り畳みするため、精密な温湿度管理が必要です。構造は気密性の高い鉄筋コンクリート造を採用し、温湿度は空調機器および加湿器を装備し、センサーにより常に一定に管理されております。また、羽虫の混入防止対策に効果のあるLEDを使用する等、高性能な建物となっております。

豊後大野市新庁舎（大分県）

※PC躯体工事

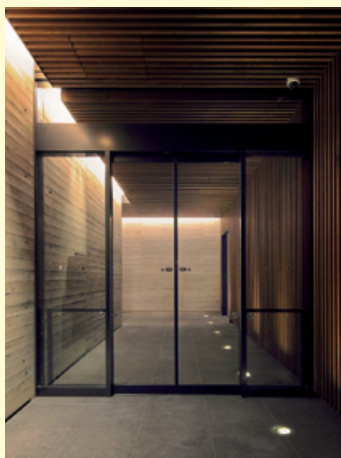
豊後大野市新庁舎は、「市民のための庁舎」を基本理念に置き、市民の利便性の向上、市民交流の促進、安心安全の確保や効果的・効率的な行政執行等を重視した建物を目指したものとなっております。構造は、鉄筋コンクリート造地上5階建て（延床面積10,192㎡）で中央公民館と保健センターを取り入れた複合施設です。

また、執務室等の大部屋ではプレキャストプレストレストコンクリートを用いることにより、間仕切りが無く、開放感のある空間を確保しつつ、周辺の景観を考慮し階高を抑えた建物となっております。



プレジリア新富町（東京都）

プレジリア新富町は、銀座・築地まで1km圏内に位置し、3駅3路線利用可能な高い利便性を誇る地上11階建て、総戸数96戸の高級賃貸マンションとして建設されました。「洗練された隠れ家」「色あせない価値」をコンセプトに、一時の流行に流されず、華美にならずに落ち着きのある佇まいを体現する正面デザインと、素材感や質感を生かしたエントランス、内廊下を採用し、高級ホテルの優雅さを感じさせる仕上げを実現した建物となっております。

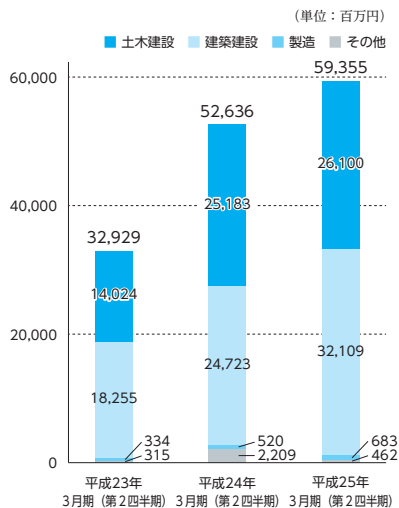




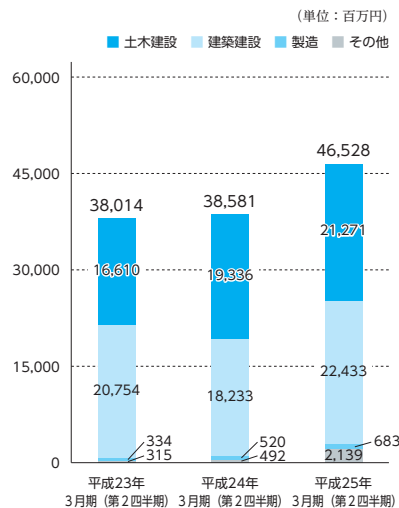
連結決算の概要

連結業績ハイライト

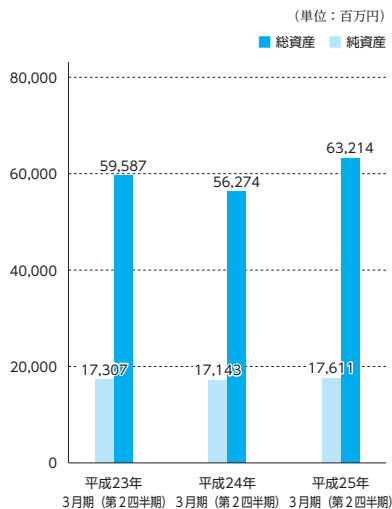
受注高（セグメント別）



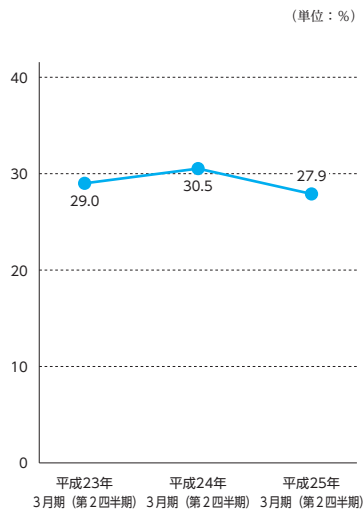
売上高（セグメント別）



総資産／純資産



自己資本比率



貸借対照表要旨（連結）

（単位：百万円）

	前期末 平成25年3月31日現在	当第2四半期末 平成25年9月30日現在
流動資産	49,258	47,184
固定資産	15,757	16,030
有形固定資産	12,259	12,260
無形固定資産	36	36
投資その他の資産	3,460	3,733
資産合計	65,015	63,214
流動負債	41,367	39,509
固定負債	5,782	6,093
負債合計	47,150	45,603
純資産	17,865	17,611
負債・純資産合計	65,015	63,214

損益計算書要旨（連結）

（単位：百万円）

	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	38,581	46,528
売上原価	35,987	43,850
売上総利益	2,594	2,677
販売費及び 一般管理費	3,235	3,204
営業損失（△）	△ 641	△ 527
経常損失（△）	△ 732	△ 568
四半期純損失（△）	△ 895	△ 363



会社情報 (平成25年9月30日現在)

◆商 号 株式会社ピーエス三菱
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.

◆設 立 昭和27年3月1日

◆資 本 金 4,218,500,000円

◆従業員数 単体：1,046名

連結：1,491名

◆本社・支店

本 社 〒104-8215
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9111

東京土木支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9511

東京建築支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9611

東 北 支 店 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル
(022) 223-8121

名 古 屋 支 店 〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル
(052) 221-8486

大 阪 支 店 〒530-6027
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー
(06) 6881-1170

広 島 支 店 〒730-0036
広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル
(082) 240-7011

九 州 支 店 〒810-0072
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル
(092) 739-7001

◆役員

取締役および監査役

代表取締役社長	勝 木 恒 男
代表取締役副社長	杉 本 武 司
代表取締役副社長	田 中 哲
取 締 役	森 拓 也
取 締 役	権 藤 智 丸
取 締 役	山 本 晶 彦
取 締 役	藤 井 敏 道
取 締 役	鳥 井 博 康
取 締 役	湊 高 樹
常 勤 監 査 役	森 岡 一 彦
常 勤 監 査 役	井 岡 幹 雄
常 勤 監 査 役	松 尾 潔

(注) 取締役藤井敏道、鳥井博康、湊 高樹の3氏は社外取締役であります。

監査役森岡一彦、井岡幹雄の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

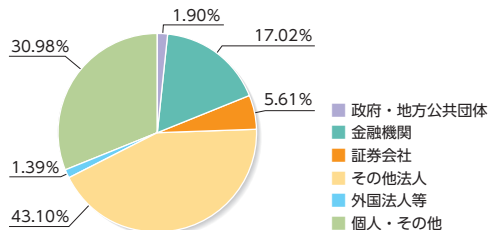
※ 社長執行役員	勝 木 恒 男
※ 副社長執行役員 (土木本部長)	杉 本 武 司
※ 副社長執行役員 (社長補佐・建築関係担当)	田 中 哲
※ 常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当兼海外事業担当)	森 拓 也
※ 常務執行役員 (管理本部長兼総務人事部長・CSR担当)	権 藤 智 丸
常務執行役員 (大阪支店長)	蔵 本 修
※ 執 行 役 員 (建築本部長)	山 本 晶 彦
執 行 役 員 (建築本部長)	小 長 光 公 和
執 行 役 員 (大阪支店副支店長)	伊 藤 博 通
執 行 役 員 (建築本部副本部長)	戸 潤 隆
執 行 役 員 (東京土木支店長)	塚 原 明 彦
執 行 役 員 (土木本部副本部長兼原子力室長)	鈴 木 義 晃
執 行 役 員 (土木本部副本部長兼土木部部長兼土木営業部部長)	久 保 充 彦



株 式 情 報 (平成25年 9月30日現在)

- ◆発行可能株式総数 11,000万株
- ◆発行済株式の総数 48,313,587株
- ◆株主数 11,977名

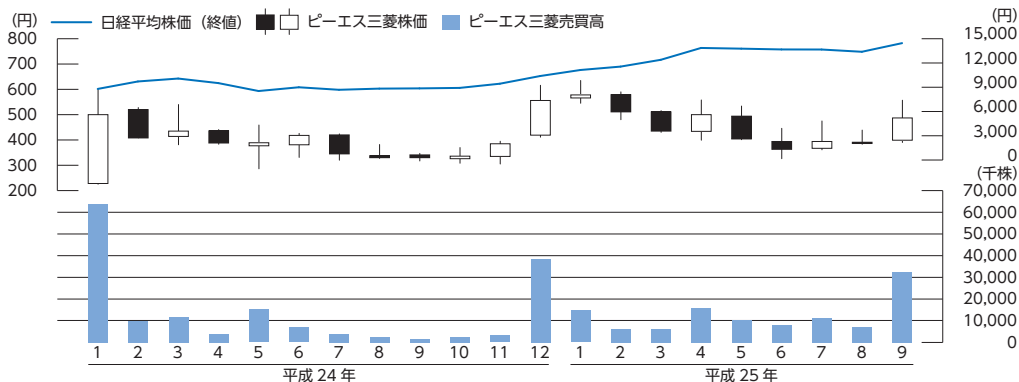
◆所有者別株式保有状況



◆大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率
三菱マテリアル株式会社	15,860,354株	32.83%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.30
株式会社ピーエス三菱 (内 A種類株式)	2,022,364 (1,936,000)	4.19 (4.01)
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.80
岡山県	839,740	1.74
株式会社三菱東京UFJ銀行 (内 A種類株式)	730,667 (730,571)	1.51 (1.51)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	547,500	1.13
三菱地所株式会社	496,000	1.03
日本証券金融株式会社	472,100	0.98
ピーエス三菱従業員持株会	412,395	0.85

◆日経平均株価・株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同総会議決権行使株主 確定日	3月31日
■期末配当金受領株主 確定日	3月31日
■中間配当金受領株主 確定日	9月30日
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所
■単元株式数	100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



コーポレートマーク

生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォ
ントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。